

2014 年度第 1 回環境工学委員会建築設備運営委員会 議事録

- 日時：2014 年 6 月 5 日（木） 17：00-19：30
- 場所：建築会館（東京都港区）
- 出席者：郡公子、長井達夫、長谷川巖、赤司泰義、(秋元孝之)、石野久彌、(猪岡達夫)、
宇田川光弘、(岡建雄)、(川瀬貴晴)、古賀誉章、(小林陽一)、(坂上恭助)、佐々木邦治、
佐々木真人、(佐野武仁)、清水昭浩、(高井啓明)、(仲野章生)、(中野淳太)、中山哲士、
永田明寛、(二宮秀與)、(野部達夫)、羽山広文、細淵勇人、(本間睦朗)、(松本真一)、
(三浦克弘)、森川元樹、森本達也、横山計三、(吉田治典) (カッコ内は欠席)
- 配布資料
 1. 資料 1-1 建築設備運営委員会 2014 年度第 1 回 議事次第
 2. 資料 1-2 建築設備運営委員会 2013 年度第 5 回 議事録案
 3. 資料 1-3 2014 年度建築設備運営委員会名簿
 4. 資料 1-4 2014 年度第 1 回環境工学委員会議題
 5. 資料 1-5-1～1-5-4 第 10 回建築設備シンポジウム関連資料
 6. 資料 1-6-1～1-6-2 大会若手優秀発表の表彰関連について
 7. 資料 1-7-1 第 4 回気象データ小委員会 議事録
 8. 資料 1-7-2 次世代排水システム小委員会 第 11～13 回議事録案
 9. 資料 1-7-3 ガラス WG 主催 板硝子工場見学報告
- 議題
 1. 前回議事録確認（資料 1-2）
 - ・異議なく承認された
 2. 環境工学委員会報告（資料 1-4）
 - ・2015 年度大会は東海大湘南キャンパスで 9/4-9/6 に開催されることになった
 - ・学会賞（論文）について、環境からは羽山先生（北海道大）、近藤先生（東京都市大）が受賞
 - ・2014 年度大会の研究協議会は「都市再生における環境工学の役割」、研究懇談会は「今後の環境工学を担う若手研究者」というタイトルで開催される
 - ・大会若手優秀発表要綱について、各運営委員会で内容を審議・決定することになった
 - ・シンポジウム実施報告・計画について、設備シンポジウムの実施計画について審議・承認された。また、熱シンポジウム（湿気関連）が 10/24-25 に開催される（大阪阿倍野ハルカス）。
 - ・大賞候補業績推薦に関連して、環境工学本委員会では 3 年連続応募するとその次の年は応募できなくなる。
→ 4 年以上応募できるようにしても良いのではないか
 3. 各小委員会の活動計画と報告（資料 4-4.1～4.4.6, 4-7-1, 4-7-2）
- 1) ヒューマンファクターに配慮した環境構築小委員会（横山委員）

この間 3/24, 5/26 に回開催した。シンポジウムを 2/23 に建築会館で開催予定でこれから企画書を作成する。内容は、研究と実施事例について委員を中心として発表する予定である。また、人に優しい空間というタイトルで、多様な環境の創造を目指した研究内容、立命館大学のグリーンビルディングコンソーシアム等について議論した。

→ ヒューマンファクターという用語の由来は何か？ 日本におけるオリジナルの概念で環境を構築するときに人間の要素を取り入れた環境構築、というような方法論のことである。

2) 建築気象データ小委員会（松本委員、資料 1-7-1）

3/22 に開催した。UV-A 関係の測定とモデル化、PAR 全天観測、等複数の内容について議論した。

→ 気象データの整備状況についてはいかがか？（郡）

AMeDAS の新版については整備スケジュールが若干遅れている（細淵）。

3) 環境設備に関する学会規準（AIJES）における性能レベル検討小委員会（森川委員）

この間 2 回開催した。2000m²程度の建物について省エネ性・コストについての解析結果をまとめた。シンポジウムを計画しており、次回の運営委員会で提案する予定である。

→シンポジウムの内容は学会規準の内容に関するものか？（郡）

事務所ビルに限定して内容案を提示するという内容である（森川）

シンポジウム案を事前にメールで提示して審議してほしい（郡）

4) 次世代排水システム小委員会（古賀委員、資料 1-7-2）

この間、3 回開催した。SHASE-S206 に当てはまらない新しいシステムについてのガイドラインを作成している。刊行委員会との合同委員会で AIJES のガイドライン作成に向けて検討を行なっている。執筆はほぼ終了しており、全体のバランスを考慮した修正作業を行なっている。刊行に向けて刊行委員会としてシンポジウムの開催を計画している（12/4 建築会館ホール）。

5) 環境建築システム小委員会（長井）

3/16, 17 に熱環境運営委員会伝熱小委+熱環境シミュレーション小委、建築設備運営委（本委員会）、北海道支部環境工学専門委との合同開催の発表会を行った。また、5/26 に委員会を開催し、省エネ設備システムに関する出版企画を立てている

6) ガラス建築快適環境 WG（佐々木(邦)委員、資料 1-7-3）

4/25 にガラス工場の見学を実施した。色がばらつかないように産地は限定している、板ガラスの製造方法、ガラス加工等について学習した。以前より検討している出版の形態について電子出版を考えている。

→ どのくらいのコストになるか？（羽山）

どこまで自分で編集するかによる。カラーでも価格が変わらないのはメリット。共著者が多い場合の著作権上の調整が必要かもしれない（佐々木）

4. 2014 年度第 10 回建築設備シンポジウム計画案（資料 1-5）

- ・ 一部、二部とも対象物件、発表者が決定した。ただし、第二部の講演タイトルが仮なので 6 月中を目途に各講演者に決めてもらうよう依頼する。

→ 各講演者には執筆依頼の中でタイトルの報告締切りについて記載することによって周知

する

- ・ 原稿執筆について 9/5 原稿締切りとしている。これは、動画配信に合わせて設定した締切りである
- ・ 各講演者の窓口担当者は講演者のメールアドレスを長谷川幹事のところに 1 週間以内に報告し集約する。なお、村川先生の窓口担当者は石野先生とする。
- ・ 動画配信することを各講演者に周知する必要がある。

5. 大会若手優秀発表の表彰について（資料 1-6）

- ・ 20 代の若手の発表のうち、10～15%の件数を優秀発表として表彰する。
- ・ 推薦方法について運営委員会ごとに制定する必要がある。その結果を環境工学本委員会に報告した上で 8 月には司会者に推薦方法について連絡することになっている。
- ・ 建築設備運営委員会としては、司会者（2 名）が該当すると思われる発表について推薦し、その結果を運営委員会で集約して決定する方針としたい。
- ・ 本運営委員会の下に実施のための WG をつくることとする。WG の主査は永田先生とし、推薦方法について 6 月中を目途に検討する。その際、熱環境運営委員会との整合性について考慮する。ただし、今年度は試行なので必ずしも推薦方法を統一する必要はない。

6. その他

7. 次回以降開催予定

9/18(木)、11/28(金)、2/17(火)、いずれも 17:00-19:00（3 月にもう 1 回開催の可能性あり）

以上